



令和5年6月21日

嘉麻市長 赤間 幸弘 様

嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

会長 井原 徹



熊ヶ畑地域拠点施設建設基本計画（案）等に関する答申について

令和4年9月21日付け、4嘉地第279号にて貴職から諮問のありました事項に関し、本審議会において慎重に審議を行った結果、下記のとおり答申します。

なお、審議の資料等については、別添「審議会参考資料」の通りです。

記

【審議結果】

1 熊ヶ畑地域拠点施設建設基本計画（案）に関すること

- ① 別紙「施設整備方針（資料16）」の基本方針に基づくこと。
- ② 別紙「建築デザイン方針（資料17）」に配慮すること。

【審議会経過及び開催状況】

(1) 第1回 嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

日時 令和4年9月21日(水) 19:00~20:30

<審議概要>

委員へ委嘱書の交付を行った。井原会長及び小野田副会長が選任された。

会長に諮問を行い、スケジュールや審議内容の通知を行った。

(2) 第2回 嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

日時 令和4年10月26日(水) 19:00~21:00

<審議事項>

・第1回の会議要録の承認について

⇒第3回審議会内で承認された。

・熊ヶ畑地域拠点施設建設基本計画(案)の導入検討機能について

⇒運営体制を決める前に、施設の規模を決めることは難しいのではないかと意見が出た。その他、施設の具体的な機能等について意見交換を行った。運営イメージについて、次回資料を提示することを説明した。

(3) 第3回 嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

日時 令和4年11月22日(火) 19:00~20:25

<審議事項>

・第1回及び第2回会議要録の承認について

⇒第1回会議要録は審議会内で承認された。第2回会議要録については、次回審議会内で承認予定。

・審議会スケジュールについて

⇒全5回のスケジュールとしているが、2回程度審議を延長することについて説明を行い、委員の了承を得た。

・熊ヶ畑地域小さな拠点イメージについて

⇒運営に係るコストについて、いくつかの条件を元にシミュレーションを行い、運営上必要な費用等について、意見交換を行った。

・熊ヶ畑拠点施設配置の比較検討について

⇒民家へ配慮した施設の配置とすることや、規模についても他の事例との比較を行いながら検討してほしいとの意見が出た。その他、各審議会で決定する事項を示したロードマップがあると審議がしやすいとの意見もあった。委員の皆様からいただいた意見を踏まえ、次回資料を提示することを説明した。

・その他

⇒資料の事前送付をもう少し早めてほしいとの意見が出た。コンサル業者や正副会長との事前打合せの関係上、期間を要するが、出来る限りはやめに資料を送付することを説明した。

(4) 第4回 嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

日時 令和5年1月18日(火) 19:00~20:25

<審議事項>

・第3回の会議要録の承認について

- ⇒一部文言修正の指摘があった。会議要録修正後、第5回審議会にて承認された。
- ・審議会ロードマップについて
- ⇒第4回審議会で、2回程度会議を延長することについて、既に了承をいただいていたが、さらに1回延長し、6月に答申を行うスケジュールとしたい旨を説明し、委員の了承を得た。
- ・熊ヶ畑拠点施設配置の比較検討について
- ⇒配置イメージ案について、各委員より様々な意見の提案があり、整理し次回検討することを説明した。

(5) 第5回 嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

日時 令和5年3月22日(水) 19:00～20:30

<審議事項>

- ・第4回の会議要録の承認について
- ⇒審議会内で承認された。
- ・熊ヶ畑小さな拠点審議会の今後の進め方
- ⇒これまでの審議会では、建設検討施設の機能や規模等について、多くの意見をいただいたが、設計の段階で検討すべき事項に係る意見も見受けられたため、改めて本審議会の趣旨や小さな拠点づくりの定義について説明した。各施設の○○機能に□□の設備が必要で、面積を約●●㎡にするなどの審議・決定は行わず、施設の機能として○○の機能が必要といったことや、配慮してほしい点等について審議を行うことを伝え、委員の了承を得た。
- ・施設機能について
- ⇒建設検討施設の各機能の必要性等について、意見交換を行った。防災の観点より一定の広さを確保することや、高齢者に配慮したバリアフリー化も検討してほしいとの意見があった。その他、各機能の内容に係る意見等については、次回の会議でお受けしたい旨を説明し、委員の了承を得た。

(6) 第6回 嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

日時 令和5年4月26日(水) 19:00～

<審議事項>

- ・第5回の会議要録の承認について
- ⇒審議会内で承認された。
- ・施設整備方針(熊ヶ畑地域)について
- ⇒健康増進機能の基本方針に記載している活性化センターとの連携についての文言と、地元食材提供機能の基本方針に記載している地元運営となることを考慮した施設計画とするとといった文言については、共通事項の項目に記載してはどうかとの意見があったため、その内容で修正することとし、委員の了承を得た。又、建設予定施設は現状の施設と比べ小さくなるのかといった意見があった。公共施設の適正化を図るため、市全体の施設の延床面積を縮減していくが、熊ヶ畑地域のみで判断するのではないため、今回の施設の規模が同等又は場合によっては大きくなることもあり得ることを説明した。

・建築デザイン方針（熊ヶ畑地域）

⇒今後、デザイン方針等を設計に落とし込む上で、本審議会の意見として、地域資源の有効活用（自然エネルギーの活用）といった文言を取り入れていただきたいとの意見があった。市としては、自然エネルギーの活用方法について把握できていないことや、財政面等を考慮すると、現時点で回答ができないことを伝えた。又、重油、バイオマス、電気の比較を行ってほしいとの意見もあったため、次回までに調査を行い、改めて報告することを伝えた。

（7）第7回嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

日時 令和5年5月30日（火）19：00～

<審議事項>

・第6回の会議要録の承認について

⇒審議会内で承認された

・木質バイオマス関係資料について

⇒自然エネルギーの活用に関する文言を答申書に盛り込むことについて、審議を行った。追記する文言については、後日資料を提示することを伝え、委員の了承を得た。

・施設整備方針及び建築デザイン方針について

⇒審議会内で承認された。

・熊ヶ畑地域拠点建設基本計画（案）等に関する答申について

⇒自然エネルギーに関する文言を追記した上で、後日、再承認いただくことを伝えた。

（8）第8回嘉麻市熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会

日時 令和5年6月21日（水）19：00～

<答申> 井原会長より市長へ答申

【審議会委員名簿】

区分	団体名	氏名
1号委員	元近畿大学	井原 徹
	近畿大学産業理工学部	飯島 高雄
2号委員	熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会	大田 晴美
	熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会	山田 佳世
	嘉麻市山田地区行政区長会	小野田 隆太郎
	嘉麻商工会議所	大田 岱次
	福岡嘉穂農業協同組合	圓入 孝志
	嘉麻市民生委員児童委員協議会	宮崎 裕
	かま男女共同参画推進ネットワーク	深町 晴
3号委員	嘉麻市観光まちづくり協会	有田 芳行
	公募委員	高松 美紀
	公募委員	緒方 祐香

■熊ヶ畑地域拠点施設建設基本計画 施設整備方針

基本的事項	
●安全に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民に対して、騒音や明るさなどに配慮した施設配置とする。 ・車両と歩行者の動線を明確に分離した施設配置を行い、安全面に配慮した計画とする。 ・災害に対応できる構造と温浴施設特有の条件を考慮した構造とする。
●資源・コストに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコストに配慮した施設計画とする。 ・地域資源を有効活用できる施設とする。
●地域に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のランドマークとして機能する施設とする。 ・森林環境の育成など、地域の課題に応じた活動を行える場とする。 ・山田活性化センターと連携し、地域の活性化や施設全体の利便性の向上に寄与する施設とする。 ・地元運営となることを考慮した施設計画とする。
機能	基本方針
①健康増進機能	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の白雲荘の機能等の代替施設として整備する。 ・バリアフリーに対応した施設とし、身体の不自由な方や介護利用にも配慮した計画とする。 ・地域の世代間交流が図れる空間を創出する。
②コミュニティ機能	研修・集会機能 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の公民館機能と同等程度の利用を想定した規模とする。 ・様々な用途にフレキシブルに対応できる計画とする。 ・健康増進機能と連携できる機能を検討する。
	交流機能 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の憩い、交流の場となる空間を確保する。
	防災機能 <ul style="list-style-type: none"> ・既存の公民館（山田地区公民館熊ヶ畑分館）の避難所としての機能を踏襲し、必要なスペースを確保する。
③地元食材提供機能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を提供する飲食スペースを確保する。 ・雨天時にも利用できるようなスペースを確保する。 ・山田活性化センターと連携し、食材の加工や提供等の一体的な活用、円滑な連携が可能な施設配置とする。 ・健康増進機能利用者が立寄りやすく、連携した活用ができるよう配慮した計画とする。
④衛生機能	<ul style="list-style-type: none"> ・施設と一体とするなど管理がし易い配置を検討する。 ・災害等の緊急時にも利用可能なトイレ設備を確保する。
⑤イベント・レクリエーション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・広場や駐車場を一体的に利用できる配置計画とする。 ・駐車場は、現在の温浴施設（白雲荘）と同程度の利用者数を想定し必要な面積を確保する。 ・地域のイベントをはじめとして多目的に活用できる広場を整備し、各機能（山田活性化センター、健康増進機能）と連携できる配置を基本とする。
⑥防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に災害支援用の車両等の乗り入れが可能なスペースを確保する。 ・災害時の避難や支援活動など多目的に活用できる広場を整備する。

■熊ヶ畑地域拠点施設建設基本計画 建築デザイン方針

方針	方針	配慮事項
周辺環境と調和したデザイン	○ 自然環境と調和したデザイン	・ 周囲の自然環境と一体感のある落ちつきのあるデザインとする。
	○ 自然環境を利用したデザイン	・ 大きな窓やトップライト等を設けて、室内が明るい空間となるデザインとする。
	○ 周辺民家に配慮したデザイン	・ 周辺の民家への配慮として、健康増進機能のボイラー室を防音室とするような配慮の他、日影にならないよう建築の高さ、配置等に十分留意したデザインとする。
利用しやすいデザイン	○ 安全なデザイン	・ バリアフリー等に配慮し、誰もが安心して利用できるようなユニバーサルデザインとする。
	○ 分かりやすいデザイン	・ 健康増進機能、地元食材提供機能は、利用者に分かりやすいデザインとする。
	○ 利用動線に配慮したデザイン	・ 各諸室の利用者、管理者の動線に配慮した配置とする。
	○ プライバシー、犯罪防止に配慮したデザイン	・ 健康増進機能の窓など、プライバシー確保、犯罪防止の観点より配置デザインを検討する。
にぎわいを創出するデザイン	○ 活性化センターとの連携を図るデザイン	・ 隣接する山田活性化センターとの連携に配慮して、相互に利用が促進されるようなデザインとする。
	○ 地域の交流の場となるデザイン	・ イベント利用を考慮し、地域の活性化に寄与するようなデザインとする。
利用を促進するデザイン	○ 利用者が立ち寄りたくなるデザイン	・ 健康増進機能のロビーや地元食材提供機能は、外から室内の様子が分かりやすいように配慮することで、利用を促進するようなデザインとする。
	○ 施設のシンボル性があるようなデザイン	・ 前面道路や、隣接する県道を通過する車両が、遠くからでも施設の存在が分かりやすいようなデザインとする。